

業務概要

目的

2017年は西梅田地区のまちづくりがスタートしてから30年を迎える節目の年であり、地区の歴史やまちづくりの経緯をふり返し、今後の地区のあり方を考えるシンポジウムを12月に開催した。

本業務では、当シンポジウムを効果的なものとするための企画立案や各種資料の作成、シンポジウムを円滑に進めていくための事前調整・準備や当日の運営、また、シンポジウムを通して得られた知見を今後のまちづくりの指標のひとつとするための記録の作成等を行うことを目的としている。

概要

・シンポジウムの開催支援

シンポジウムの企画立案、事前調整・準備（PR、参加受付を含む）、当日配布冊子の作成、当日の運営支援を行った。

・ワーカーアンケートの実施支援

西梅田地区のワーカーを対象としたアンケートの企画立案、アンケート票の作成、結果の集計・分析等を行った。

・パネル展示の実施支援

地区の開発の変遷と近年の取組を紹介するパネルを作成し、西梅田地下道やシンポジウム会場において展示を行った。

西梅田シンポジウムの概要

PRチラシ

西梅田地区開発協議会発足 30 周年記念シンポジウム

OSAKA GARDEN CITY NISHUMEDA

ワーカーや来街者に「選ばれるまち」「使いこなされるまち」とは？

日時
12月6日 2017年 (水)
14:30 ~ 17:15 (開場 13:50)

会場
毎日新聞オーバルホール
(毎日新聞大阪本社ビル 地下1階)

参加無料
事前申込必要

プログラム

- 14:30 ~ 開会挨拶
寺川 博之 (西梅田地区開発協議会 会長)
- 14:35 ~ 基調講演
「西梅田地区の開発の歴史と近年の取組み」
木戸 洋二 (西梅田地区開発協議会 元会長)
- 15:05 ~ ショートスピーチ1
「今後の大阪市の都市開発と西梅田地区に望まれること」
川田 均 (大阪市都市計画局長)
- 15:25 ~ ショートスピーチ2
「西梅田地区における公共空間の活性化に向けて」
角野 幸博 (関西学院大学総合政策学部 教授)
- 休憩-
- 15:55 ~ パネルディスカッション
「選ばれるまち・使いこなされるまちの形成に向けて」
(コーディネーター)
高梨 日出夫 (元一般社団法人水都大阪パートナーズ 代表理事) (パネリスト)
角野 幸博 (関西学院大学総合政策学部 教授)
迫田 太 (株式会社毎日新聞社 元副社長大阪本社代表)
木戸 洋二 (西梅田地区開発協議会 元会長)
高橋 泉 (株式会社レック 代表取締役)
泉 英明 (有限会社ハートビートプラン 代表取締役)

お申込み
HPにて申込受付中 (定員 200名)
<http://urban-ii.or.jp/>
主催 西梅田地区開発協議会 西梅田地下道管理協議会
後援 公益財団法人 都市活力研究所
問合せ TEL: 06-6359-1322 FAX: 06-6359-1329

当日の風景

